

令和4年度 磐田市立豊岡南小学校 学校評価書

重点	目標・取組	評価指標	目標値	自己評価	考察・改善策	学校関係者評価委員から
進んで学ぼう	・主体的に考え、学びをよりよくする子に向けた授業改善 ・話し方、聴き方、対話の仕方の指導	授業の内容がよく分かる。	90	A	○「授業内容がよく分かる」と回答した児童は94.8%であり、高い数値であった。「主体的に考え、学びをよりよくする子」～自分事として学び、学びの質を高める授業～をテーマに授業改善に取り組んできた成果であると考え。一人一々端末の導入2年目となり、昨年度の実践を生かし、効果的に端末を利用していることも子供の学びにつながったと考えられる。今後も、子供たちが学習内容を「自分事」としてとらえ、「学びの実感」を味わいながら、自分自身の「学びの質」を高めていくことができる授業づくりに努めていきたい。 ○「進んで意見や考えを発表する」が昨年度より向上した。学府共通で取り組んだ話し方や聴き方、対話の仕方の指導の効果であると考え。次年度も引き続き、実施し、さらに子供達が進んで自分の考えを伝え合い、深い学びとなる授業を行っていく。 ※「進んで読書をする」では、2学期末は下がってしまったが1学期末は87.1%これまでで最高値であった。おもえほによる読み聞かせ、読書の日、完読賞等、読書に親しむ機会を多く設定した効果だと考える。次年度は読書の日では読書時間を設定しより読書に親しめるようにしたい。	・子供たちの学習状況を常に見取っていくことが大切。 ・子供たちの教科書は先生。先生が研修をし、学んでいる姿をみて、子供たちも学んでいく。 ・進んで自分の意見や考えを発言するが伸びていることから目標値を上げたらどうか。 ・進んで読書をする児童を増やしていきたい。BからAになるような取組を行ってほしい。
		進んで質問したり調べたりする。	80	A		
		進んで読書をする。	80	B		
		毎日、宿題や予習・復習の自主学習、読書などの家庭学習に取り組んでいる。(学年×10分+10分)	85	A		
		進んで自分の意見や考えを発言する。	80	A		
		CPなどを使って自分の考えをまとめたりわかりやすく相手に伝えている。	85	A		
思いやりのもの	・深い子供理解と支持的風土のある学級づくり ・挨拶の推進	学校が楽しいと感じている。	90	A	○どの項目も目標値に達成している。「進んであいさつをする」は昨年度より目標値を5%高く設定したが達成することができた。あいさつレベルを設定し学校全体であいさつの推進に取り組んだ成果である。 ○学級(学校)は互いにルールを守り、協力して生活している。自分と異なる意見や考えを認めている。学校に相談できる友達や先生がいるも目標値を上回っていることから本校の児童は他者に受容的であり、他者とよりよい関係づくりができています。道徳科の授業で学習したことを普段の生活に生かせるよう、学校教育全体を通した道徳教育の充実を図ったこと、学級力向上プログラムにおいて児童主体で取組を考え実践したことも要因であると考え。 ※「学校が楽しい」と回答した児童は、は92.5%である。一方で「楽しくない・あまり楽しくない」と回答した子が7.5%いる。深い児童理解の基、一人ひとりに寄り添った支援に努めることで、学校生活の楽しさをどの子にも味わわせながら、自己有用感を高めていきたい。	・あいさつレベルがあることで子供たちにとって分かりやすく、また、自分自身で目標を設定し取り組んでいる。登下校時に会釈をする子、横断歩道を渡り終えたときに振り返って車にお礼をしている子もいるのがすばらしい。 ・ふわふわ言葉の意味が児童、保護者ともに認知度が以前より下がっているように感じる。また、相手がいやな気持ちになる言葉を意味を理解せずに使っている児童・生徒もいる。小学校でふわふわ言葉を大事にすることで中学校でも使えるようになる。 ・あいさつの目標値を上げてよいのではないか。
		進んであいさつをする。	85	A		
		「ふわふわ言葉」をつかっている。	85	A		
		学級(学校)は、互いにルールを守り、協力して生活している。	85	A		
		自分と異なる意見や考えを認めている。	90	A		
		学校に相談できる友達や先生がいる。	90	A		
元気なく体をう	・月1回の「健康の日」を中心とした基本的な生活習慣の向上 ・体育授業を要とした体力の向上	進んで運動に取り組んでいる。	85	A	○静岡県体力アップコンテストへの参加(長縄跳び)やみなスポカードの活用、外遊びの奨励により、児童が進んで運動に取り組む環境作りに努めたことで、昨年度より向上した。 ○「自分の体のことを考えて食べる」が児童・保護者・教師ともに昨年度を上回った。食に対する家庭での声掛けや励ましが高まったことで児童の数値も上がったと考えられる。 ○昨年度、清掃ボランティアが作成してくださった清掃マニュアルやボランティアさんによる清掃指導、清掃の時間を「もくもく清掃」と変更したことにより、昨年度より清掃に対する意識が向上し、一生懸命取り組む子が増えた。 ※新体力テストの記録は、昨年度より磐岡平均を上回っている種目が増えた。更なる手立てを図ることで、走・跳・投や柔軟性、瞬発力、持久力等バランス良く体力向上を図ってきたい。	・コロナによる行動制限が緩和されているため子供と地域のつながりができるよう、子供たちが地域のボランティア活動に積極的に参加するようになってほしい。 ・寒くても元気に外遊びをしている子が多いことや荷物も重くても登下校している子を見てみると子供たちにたくましさを感じる。
		早寝・早起きをしている。	80	A		
		自分の体のことを考えて食べている。	85	A		
		廊下や階段は右側を歩いている。	85	A		
		清掃に一生懸命取り組んでいる。	90	A		
その他	・児童について定期的に情報交換をする場の設定(ミニハートケア) ・地域人材の積極的活用	夢や目標に向かって頑張っている。	85	A	○「夢や目標に向かって頑張っている。」が昨年度より向上した。子供たちが夢や目標(なりたい自分)をもち、未来に向かってすくすくと成長することができるよう、次年度は子供達が様々な活動を通して自信を育てられるようにしたい。 ○「先生は子供のことを理解して指導に当たっている」と答えた児童が96%、保護者は97%と高い数値であった。児童と担任がよい関係を築けている。又、担任は、学年や教科で入っている教員と適宜、情報共有したことで児童理解を深めることができ、個に合った支援につながったと考えられる。今後も多くの目で児童を見取ることにより児童理解をしていき、児童と教師の信頼関係の上に立った教育活動ができるよう努めていく。 ○「中学校での学習や生活を楽しくしている」が昨年度の75%から86%と向上した。今年度は中学生が朝のあいさつ運動をしてくれたり、中学2年生全体とリモートではあるが6年生と交流できたことで中学生への憧れをもったり、進学に対する不安の軽減がされたためではないかと考える。 ※学校で目指そうとしている子供の姿や教育内容について知っているは、昨年度より向上しているが、目標値に達していない。各種たよりやHP等を効果的に使用し、保護者により伝わるようにしていきたい。	・中学校での学習や生活を楽しくしているがBである原因を明らかにしていけば取組に生かしていくことができる。 ・学校評価の数値を他校と比較できるより実態が分かるのではないかと感じる。 ・コロナ感染対策により、保護者が参観する機会が減少している。保護者の参観人数や参観できる機会が増えたいとよい。
		中学校での学習や生活を楽しくしている。(6年)	90	B		
		先生は子供のことを理解して指導に当たっている。	90	A		
		農作物を育てる体験やひろせ学習を通して、地域の歴史や自然、産業について関心がある。	85	A		
		学校で目指そうとしている子どもの姿や教育内容について知っている。(保護者)	90	B		
		豊岡南小学校は、応援しがいのある学校である。(保護者)	90	A		

学校関係者評価を受けてのまとめ

多くの項目で目標値を達成することができたため、次年度はより高いレベルを目指し、児童がさらに高い資質・能力を身に付けることができるようにしていく。また、B評価であったところは原因を明らかにして、向上を図れる手立てを検討し実践していく。学校運営協議会委員から「子供たちの教科書は先生である」というお言葉をいただいた。本校の目指す教師像は①生徒指導力②授業力③学級経営力④分掌遂行力⑤コミュニケーション力⑥教育に対する誇りの6つを兼ね備えた奥行きのある教師である。全職員が研鑽を積み、こらら6つの力を高め、子供たちへの指導・支援をしていくこと、また、本校の教育について保護者、地域の方に理解してもらい、連携・協働を図っていくことで「夢をもち たくましくなやかな ひろせっ子」を育てていきたい。